



いっしょに育ててる多摩っ子 あなたの子育てを全力でサポート

- 2 パパ・ママを全力でサポート～妊娠期からの切れ目ない子育て支援～
- 3 子ども・若者関連情報
- 4 子ども・若者関連情報、いきいきシニア、わくわくスマホ

- 5・6 2月16日(金)から住民税の申告受け付けが始まります
- 7 税、求人・募集、市民参画
- 8 多摩ニュータウン再生プロジェクトシンポジウム

- 9・10 講座・催し物
- 11 健康だより(受診相談)、梅の見所紹介
- 12 多摩センターわくわくプロジェクト

市長コラム 多摩の風 第120回

毎年、「せいせき桜まつり」で福島県浪江町など東日本大震災の被災地支援に取り組んできましたが、3月20日(祝)、関戸公民館ヴィータホールで東日本大震災そして能登半島地震復興支援のトーク&ふれあいコンサートを開催するそうです。

(多摩市長 阿部裕行)

関東大震災から、今年で101年。首都直下型地震など、イザという時に備え、避難路・備蓄品などを確認しておきましょう。

1月24日に、大雪が降る中、市職員が水や食料など救援物資を能登町に搬送しました。現地では被災者は勿論、町の職員も被災者であり、私たちにできる支援を息長く続けていかなければと痛切に感じたところです。

さて、桜ヶ丘商店会連合会は毎年、「せいせき桜まつり」で福島県浪江町など東日本大震災の被災地支援に取り組んできましたが、3月20日(祝)、関戸公民館ヴィータホールで東日本大震災そして能登半島地震復興支援のトーク&ふれあいコンサートを開催するそうです。

住宅の耐震化、断水によるトイレや飲料水の確保、交通遮断地域への救援など、課題もみえてきました。

半島の日本海側の海岸線では、1分間で4mを超える大規模な隆起に見舞われ、85kmにわたって港や海だったところが陸地に変貌という、想像を絶する事態が起きていました。

「想定外は許されない」とはいえ、正月に地震が発災するとは、故郷に帰省し、一家だんらんのその時、能登半島は激震に見舞われました。

地震は、ある日突然…。

